

学校だより
はす

ぬま

ちゅう

かがみ

蓮沼中鏡

令和3年度 第12号
令和4年3月18日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 大山 聡

第66回卒業証書授与式 式辞

今日は、第66回卒業証書授与式にあたり、保護者の皆様とお子様のご卒業をお祝いできますことを心から嬉しく思っています。お子様は、本日をもって九年間の義務教育を修了いたしました。保護者の皆様の長年のご苦勞に対しまして、敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。おめでとうございます。

卒業生のみなさん、たった今、中学校生活三年間を修了した証として卒業証書を手渡しました。一人ひとりの顔を見ながら、この一年間の成長を感じ取れました。進路という大きな壁にひるまず堂々と立ち向かったみなさんはとても頼もしく見えます。昨年4月の始業式に初めてみなさんと出会いました。その時のみなさんは姿勢よくしっかりと立ち、まっすぐ校庭に並び、凛とした表情でこちらを見ていました。その新三年生を見習うように在校生たちも立派に立っていました。蓮沼中、いい学校だな、いい伝統を築いてきているなと感じたのを昨日のこのように思い出します。あれから1年、共に学校生活を送ってきましたが、やはりその時に感じた気持ちに間違いはありませんでした。朝の元気なあいさつから始まり、日々の授業、行事や委員会活動、部活動に至るまで、蓮沼中学校の三年生として後輩たちに模範を示してくれました。本当に感謝しています。特に今年度から組織された生徒心得検討委員会では、蓮沼中の校則の改定に尽力してくれました。全校生徒からアンケートを取り、三年生を中心として検討がなされました。そのおかげで来年度から新しい生活のきまりがスタートします。きっと来年度も後輩たちが検討を重ね、さらによりよいものにしてくれると確信しています。

そんなみなさんの卒業にあたり、次の詩を紹介して、蓮沼中を巣立っていく卒業生へのお祝いの言葉とお別れの言葉にしたいと思います。つらかった時、くじけそうになった時、もうこれ以上できないと思った時、いつも読み返して励みにしてきた詩です。

思い

もし、自分がだめだと思えば、だめになってしまう。
しかし、自分は違うんだと思えば、頑張ることもできる。
勝ちたいのだが、勝てそうもないと思えば、十中八九は勝てない。
初めから負けると思っていれば、絶対に勝つことはできない。
成功、不成功はすべて、人の思いから始まる。
すべては人の思い次第である。
その第一歩を踏み出す前から敗れているレース。
仕事にかかる前から失敗している臆病者が何と多いことか。
大きな思いは行いを向上させ、小さな思いは人を萎縮させる。
自分には何ができ、自分は何をしたいのか。
すべては人の思い次第なのである。
自分を優れたものと思えば、そのようになる。
自分を高めるには、そのような思いを抱かなければならなくなる。
賞を得たいと思えば、自分にまずその確信がなければならぬ。
人生の戦いは必ずしも強いもの、早いものが勝つのではない。
最後の勝利者になるのは、いつも自分にはできると考えている人である。

卒業生のみなさん、これからの人生の中で様々なことを経験し、時には壁にぶつかることもあると思います。そんな時は、自ら考えた初心の「思い」に立ち返り、強く進んでいってください。そうすることによって、どんな壁をも乗り越えて、新しい道が必ず開けることを私の経験から約束します。

それでは、卒業生の前途洋洋たる未来を心から祝して、式辞いたします。

令和四年三月十八日 大田区立蓮沼中学校長 大山 聡

今年度の卒業生進路状況

【3月17日現在の進路状況】

	国公立高校(全日制)	私立高校(全日制)	特別支援学校	定時制他	計
男子	32	21	4	3	60
女子	29	25	0	2	56
計	61	46	4	5	116

表彰生徒 おめでとうございます

- 体育優良生徒…小川 滉(3B)・村瀬 沙羅(3A)
- 体育努力生徒…関根 晨之助(3I)
- 産業教育優良生徒…大関 翼(3C)・鈴木 民美(3C)・高橋 拓輝(3 I)